

アフリカ・マラウイ国への水事業支援を拡大します！ ～長期プロジェクトの開始と給水車の寄贈を実施～

横浜市では、「アフリカに一番近い都市、横浜」というスローガンを掲げており、今年も横浜で第7回アフリカ開発会議が開催されます。このたび、アフリカとの連携を一層促進するものとして、アフリカ・マラウイ国への水事業への支援拡大を図るため、プロジェクト化に伴う長期専門家の派遣と給水車の寄贈を行います。

1 横浜市水道局が長期専門家を派遣し、チーム横浜でプロジェクトに取り組みます！

【経緯】

- ・2008年度に開催された第4回アフリカ開発会議を契機に、水道局では、独立行政法人国際協力機構（JICA）と連携して、アフリカ諸国に対し研修員の受入や職員の派遣などの支援を進めています。
- ・2013年の第5回アフリカ開発会議において、当時マラウイ国の大統領であったジョイス・バンダ氏が林市長と対談し、その中でマラウイのインフラ整備についての協力要請が示されました。
- ・これを受けて、水道局ではボランティア派遣事業の実施可能性について調査を行い、翌2014年度から毎年、同国のブランタイヤ水公社（BWB）にこれまでに5回、計17人の職員を派遣（※）しています。
※今年度も2020年2月に職員を派遣予定



ボランティア派遣職員の支援活動の様子
(ブランタイヤ市)

【プロジェクトについて】

今回、横浜市のこれまでの取組をJICAに高く評価いただき、同国の首都リロングウェ水公社へのプロジェクトへと発展しました。

プロジェクトの総括である長期専門家を横浜市水道局が派遣し、横浜水ビジネス協議会員である株式会社協和コンサルタンツと横浜ウォーター株式会社と連携して、チーム横浜で、マラウイ水事業の改善に取り組んでいきます。

《プロジェクトの概要》

事業名：リロングウェ市無収水対策能力強化プロジェクト

対象機関：リロングウェ水公社（LWB）

期間：4年間（2019年6月中旬～2023年6月）

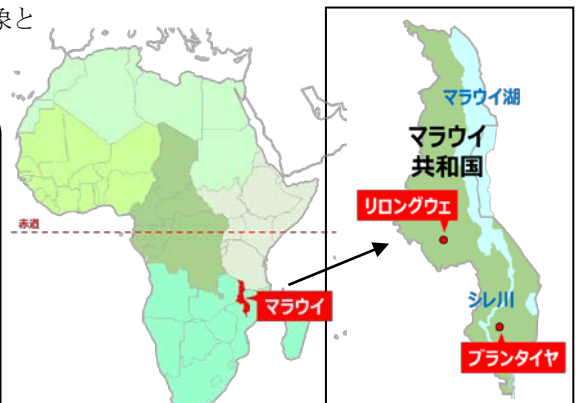
参加団体：横浜市水道局（長期専門家（総括））、株式会社協和コンサルタンツ*、横浜ウォーター株式会社*

*いずれも横浜水ビジネス協議会会員企業であり、JICAがこのプロジェクトを公示し、上記2社の提案が採択されました。

目標：リロングウェ市における水公社の無収水（※）対策能力が強化される。

※無収水とは、水道管からの漏水などにより、料金徴収の対象とならなかった水のこと。

アフリカ マラウイ国



裏面あり

～マラウイ国リロングウェ市概要～

- マラウイの首都。人口約99万人（2018年）。
- 人口増加率が2.8%と人口増加に伴う水需要増が著しい。水道普及率は70%、一日の給水時間は20時間、無収水率は36%。
- なお、2009年から横浜市水道局が実施しているアフリカ研修員受入事業の初回研修員として来浜したLWBのアルフォンソ・チクニ技師が、現在、同公社の総裁となっている。

2 マラウイ国ブランタイヤ水公社に給水車を寄贈します！

【経緯】

- 水道局が、マラウイ国ブランタイヤ水公社（BWB）へのボランティア派遣による支援を進める中で、頻繁に起こる断水への対応のため、更新時期を迎える水道局の給水車を寄贈することになりました。
- 日本からマラウイ国までの国外輸送にあたっては、輸出の手続きと費用負担が課題でした。そうした中、BWBと関係が深く、トラック輸送のノウハウがある株式会社ビィ・フォアードの輸送費のご協力を得て、BWBに給水車を2台寄贈できることになりました。

【寄贈された給水車の活用について】

- BWBの水源から市内までは、800メートルの高低差があり、市内への給水にはたくさんのポンプアップを必要とします。このため、一度停電が発生すると、長時間断水となります。断水は日常的に発生しており、派遣職員の活動中も何度も断水がありました。
- 今回寄贈する給水車を活用し、BWBが断水中のお客様に運搬給水を行うことで、お客様の信頼回復やサービスの向上が期待されます。



停電に伴う断水時の状況

参考：BWBの基本情報（2016年）

給水人口	850,000人
平均給水量	93,000m ³ /日
顧客数	58,764世帯

【車両の引渡しセレモニー】

日本からマラウイ国までの輸送を依頼するため、車両の引渡しのセレモニーを行います。

日時：令和元年6月21日（金）14:00～

場所：水道局小雀浄水場

（戸塚区小雀町2470番地）

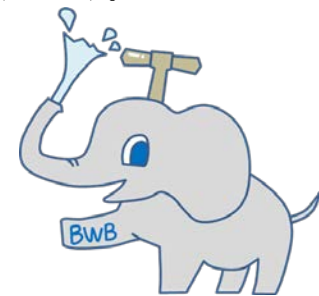
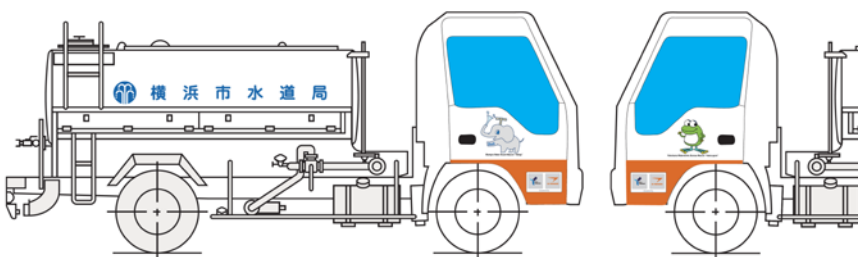
内容：水道局長が株式会社ビィ・フォアードの代表取締役給水車を引き渡します。

取材：6月20日17時までに申込み

《寄贈する給水車について》

- この給水車は2003年に購入し、1台あたり2トンの水を運搬可能です。
- この給水車に、BWBと水道局のマスコットをトラックのドア部分に左右それぞれにラッピングをします。
- BWBのマスコットキャラクター「エレタップ」は、水道に親しみを持ってもらおうと、現地に派遣された水道局職員がいくつかの案を作成し、提示した中で、BWB職員の投票により選ばれました。今回、株式会社ビィ・フォアードに全面的にご協力いただき、給水車のラッピングを行います。

給水車のラッピングイメージ



BWB マスコットキャラクター「エレタップ」

お問合せ先

水道局国際事業課長

山下 朋美 TEL 045-633-0115